

ワークショップへのご参加のお願い (令和 6 年度追加募集)

本市は、令和6年7月1日に市制100周年を迎えます。将来にわたって、誰もが暮らしやすい笑顔あふれる「最幸のまち」へつなげていくため、この契機を未来に向けた活力ある「あたらしい川崎」を生み出していく新たなスタートラインとし、一人ひとりが川崎の未来を考え、川崎の未来のために行動し、「あたらしい川崎」を生み出していけるよう、市制100周年記念事業の取組を進めているところです。

本市では令和4年3月に「資産マネジメント第3期実施方針」を策定し、現在、「地域ごとの資産保有の最適化検討」を進めています。この検討は市制100周年記念事業の考え方と同じく、地域の公共施設を通じて、川崎市の未来を考える取組です。

市民の皆さまと一緒に、地域に今ある公共施設の未来を考えながら取組を進めるため、昨年度から継続して開催しているワークショップにつきまして、**今年度、参加者の追加募集を行う運びとなりました。**

川崎市の未来をより良いものとするため、ぜひご参加いただき、皆様のご意見をお聞かせください。ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

川崎市長 福田 紀彦

目次

ワークショップに参加しませんか?・・・2

これまでのワークショップの概要・・・5

(参考資料)

資産マネジメント第3期実施
方針の概要・・・6

地域の 公共施設の 未来を考える ワークショップに参加しませんか?

追加募集

全3回

託児
あり



【令和5年度実施済み】

第1回	○公共施設の未来体験ゲーム「カワタン」をやってみよう
第2回	○20年後、施設がどのように使われているか考えよう

【令和6年度】

第3回	○モデル地域内の施設や周辺の状況について川崎市から説明 ○モデル地域の未来に向けた施設のより良い使い方・必要と思われる機能の検討
第4回	※第3回と同じ内容で、対象施設を変更して行います
第5回	○これまでの検討を共有し、モデル地域の未来に向けた施設のより良い使い方・必要と思われる機能を成果として取りまとめ

お住まいの地域ごとに
ワークショップを開催します

公共施設の未来体験ゲーム（カワタン）体験会のご案内

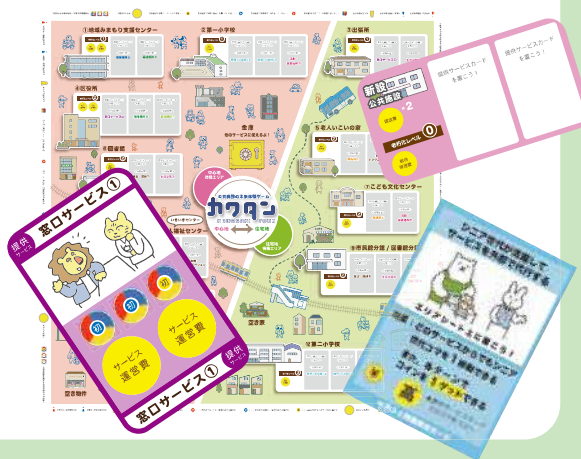


追加募集を行うにあたり、3回目からの参加をスムーズに行えるよう、昨年度第1回のワークショップで行った公共施設の未来体験ゲーム（カワタン）体験会を開催します。詳しくは p4・5 をご覧ください！

カワタンとは、資産マネジメントの考え方をわかりやすく、楽しく理解することを目的とした、川崎市オリジナルのゲームです。



追加募集でも安心して
参加できるね！



日時・場所

以下のモデル地域ごとに、令和6年度は**3回**の開催を予定しています（各回2時間半～3時間を想定）。

お住まいの地域で開催されるワークショップにご参加をお願いいたします。

日程は以下のとおりとなります。可能な限り、**継続してご参加ください。**

川崎区（川崎・渡田・富士見地域）

場所：川崎市役所本庁舎復元棟 301・302 会議室

- ・第3回 令和6年 8月25日(日) 14:00～
- ・第4回 令和6年 9月28日(土) 14:00～
- ・第5回 令和6年11月10日(日) 14:00～

幸区（平間・御幸・南河原地域）

場所：幸区役所第1～第4会議室

- ・第3回 令和6年 8月 4日(日) 14:00～
- ・第4回 令和6年 9月16日(月祝) 14:00～
- ・第5回 令和6年11月24日(日) 14:00～

高津区（西高津・高津・東高津地域）

場所：高津区役所第1・第2会議室

- ・第3回 令和6年 7月20日(土) 14:00～
- ・第4回 令和6年 9月 1日(日) 14:00～
- ・第5回 令和6年11月17日(日) 14:00～

麻生区（柿生・麻生・王禅寺中央地域）

場所：麻生区役所第1会議室

- ・第3回 令和6年 8月24日(土) 14:00～
- ・第4回 令和6年 9月29日(日) 14:00～
- ・第5回 令和6年11月4日(月祝) 14:00～

お申し込み方法

参加をご希望される方は、**令和6年6月10日(月)までに、以下のどちらかの方法**でご応募ください。
応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。ご了承ください。

- ① 同封の参加申込書に必要事項を記入し、
返信用封筒に入れて投函（切手不要）
（消印有効）
- ② 同封の参加申込書に記載された二次元コードを読み込み、
オンラインフォームからお申込み



その他

- ご参加いただく方は、あて名のご本人様になります。
- ご参加いただく方には、1人1回あたり1,000円の謝礼（クオカード）をお支払いします。
- 原則、**各回のワークショップに継続してご参加いただく形式**としています。
施設のより良い使い方については、本市の資産マネジメントに関する考え方や、地域における施設、地域全体の状況について、参加者の皆様にご理解いただいた上で考えていただく必要があるため、**1回限りではなく複数回開催する形式としています**。大変恐れ入りますが、趣旨をご理解いただき、ワークショップへのご参加をお願いいたします。
- 託児を無料でご利用いただけます。人員の確保のため、ご利用を希望される可能性のある場合は参加希望とともにお知らせください。
※参加申込書やオンラインフォーム内の「参加にあたっての配慮事項」の欄にご記入ください。
- 参加が決定した方には、開催の1週間前を目途に、開催の案内及び当日の資料を送付いたします。
なお、応募者多数により抽選を行う場合、当選は発送をもって代えさせていただきます。

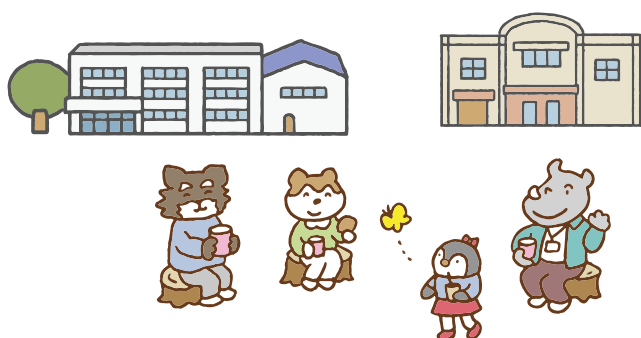
公共施設の未来体験ゲーム「カワタン」体験会について



当日の内容

- 公共施設の未来体験ゲーム「カワタン」の体験
- 第2回ワークショップの概要説明

今後のワークショップに役立つ内容となっておりますので、この機会に是非ご参加ください。カワタン体験会にご参加できない場合も、今年度のワークショップにお申し込みいただけます。



その他

- ご参加いただく方には、1人1回あたり1,000円の謝礼（クオカード）をお支払いします。
- 開催にあたり、「公共施設の未来体験ゲーム」のハンドブックなどを事前送付いたしますが、こちらについては当日、改めて会場にてお渡しいたします。ゲームの詳細につきましては当日説明いたしますので、ハンドブックには事前に目を通していただく程度で結構です。
- 託児を無料でご利用いただけます。人員の確保のため、ご利用を希望される可能性のある場合は参加希望とともにお知らせください。
※参加申込書やオンラインフォーム内の「参加にあたっての配慮事項」の欄にご記入ください。
- 人数の状況により、ご参加いただく回の調整をさせていただく場合がございますのでご了承ください。
- 体験会への参加・不参加の確認のため、こちらから連絡をさせていただく場合がございます。

なお、「地域の公共施設の未来を考えるワークショップ」第1回の様子につきまして、以下のURLに動画を公開しておりますので、こちらも是非ご覧ください。

※令和5年11月18日（土）に実施した麻生区でのワークショップの様子を収録しておりますが、川崎区、幸区、高津区につきましても同じ内容で実施しております。

【動画のURL】

<https://www.youtube.com/watch?v=DdAqT9wIQ38>



日時・場所

いずれも同じ内容ですので、以下の日程のうち、ご都合の良い日時・場所でご参加ください。

1 令和6年6月24日（月）18:30～20:30

高津区役所第1・第2会議室

2 令和6年6月28日（金）18:30～20:30

川崎市役所本庁舎復元棟 201・202 会議室

3 令和6年6月30日（日）14:00～16:00

川崎市役所本庁舎復元棟 201・202 会議室

地域の 公共施設の未来を考える/ ワークショップ

1・2回目
の概要

第1回

公共施設の未来体験ゲーム「カワタン」をやってみよう！

「公共施設の未来体験ゲーム（カワタン）」は、施設の老朽化や人口減少を迎える未来で、公共施設をどのように活用していくか、楽しく遊びながら理解を深められる川崎市オリジナルのボードゲームです。

カワサキタウンの10年後、20年後、30年後の社会情勢に合わせたミッションを達成するために、人口（コマ）や経費（コイン）を動かしたり、公共施設で提供するサービスを見直したりしながら、アニマル市民の様々なニーズにあわせて、公共施設をムダなく活用し、魅力的なまちを考えました。

IT化が進み元気なシニアが活躍するまち

多世代がゆるくつながるまち

スポーツでお金もGET！
みんな楽しく元気なカワタン

AI（あい）・AI（エーアイ）で生涯学習のまち



各グループのキャッチフレーズの例

第2回

20年後、公共施設がどのように使われているか考えよう！

20年後の川崎市に生きる人物（仕事、家族構成、何歳、趣味や日常の行動）のカードを選び、その人物の状況（日常の過ごし方、困り事など）を考えました。

その人たちがいきいきと暮らしている地域の将来像を出し合い、魅力的な将来像を実現するための公共施設の使い方を考えました。



ベルソナカードの例

集中して勉強・仕事ができるスペースがまちにあることを目指そう

施設数は増やさなくてよいので、利用時間を長くしたり様々な人が使えるように

既存施設をより活用するために、PR強化、企業との連携、多目的化などが大切

様々な世代と一緒に過ごせる、生涯学習の総合的施設のようなものがあると良い



各グループのまとめの例

実施内容は川崎市 HP に公開しておりますので、ぜひご覧ください。
<https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000157369.html>

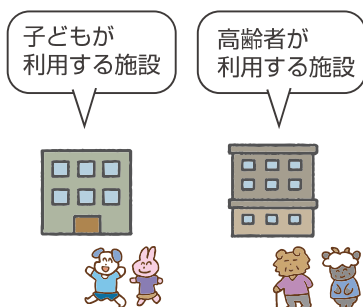




みんなでもっとうまく施設を使えないかな？

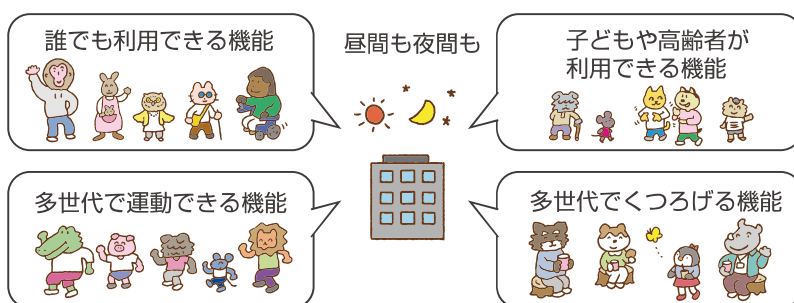
従来の考え方

特定の**目的別、対象者別**に
施設を整備



「機能重視」の考え方

施設が持つ**機能（提供するサービス）**に着目し、
市民ニーズ等を把握した上で施設を整備



資産保有の最適化の取組を進めます

利用状況や将来の利用想定等を踏まえ**機能のあり方の整理**を行い、施設の**複合化**や**多目的化**等の手法（※）を用いることにより、**施設の適正配置**を図るものであり、主に次の取組を検討します。

● 地域の利用状況を踏まえた資産保有の最適化検討

公共施設、人口動態、地域課題などの**地域ごとの状況**を踏まえた**施設の適正配置**を行い、**質の高い市民サービスを安定的に提供**するための取組を検討します。

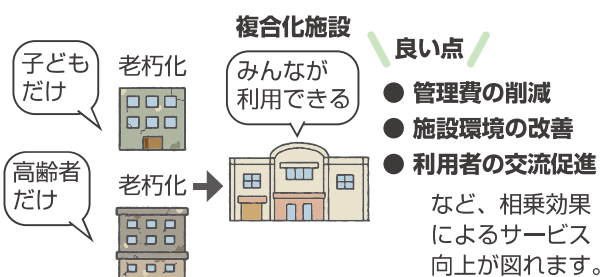
● 機能ごとの資産保有の最適化検討

ホール施設の適正配置や**学校プールの最適運用**など、同一機能を有している様々な**施設機能の適正配置**を行い、**質の高い市民サービスを安定的に提供**するための取組を検討します。

（※）施設の複合化、多目的化のイメージ

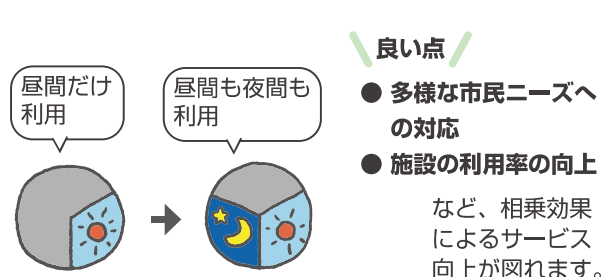
複合化

施設の建て替えなどの際に、**異なる施設を一緒にします**



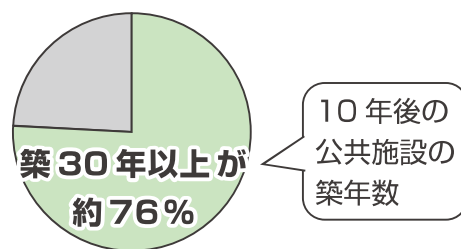
多目的化

利用しない時間帯や未稼働の空間を有効に使います



市の公共施設の老朽化が進みます

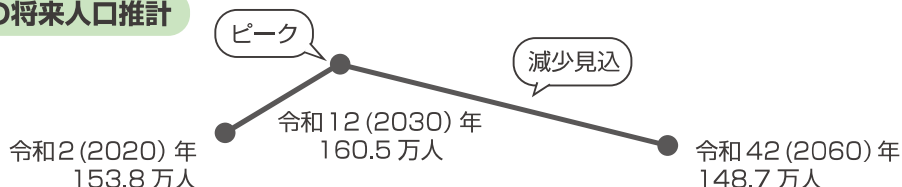
- 市の公共施設は、10年後には約76%が築30年以上に達することから、施設機能の低下や修繕費用の増大など老朽化に伴う問題が懸念されています。
- また、建築時の費用は氷山の一角で、その後に維持管理費や事業運営費など、より多くの費用が必要となる状況です。



人口減少への転換が見込まれます

- 市の人口は令和12(2030)年頃における約160.5万人をピークに、その後は減少過程への移行が想定される状況です。
- 人口減少に伴い、1人あたり㎡数(公共施設の床面積 ÷ 人口)が増加し、公共施設を維持するための市民1人あたりの費用負担も増大が見込まれる状況です。

川崎市の将来人口推計



以上を踏まえると、現状の公共施設をそのまま維持し続けることは非常に困難です

市民負担を変えずに、市民サービスの質の維持・向上をはかるためには、
当面の人口増加に対応しつつ、
公共施設の床面積を増やさない取組を行うことが必要です

資産マネジメントの取組を進めます

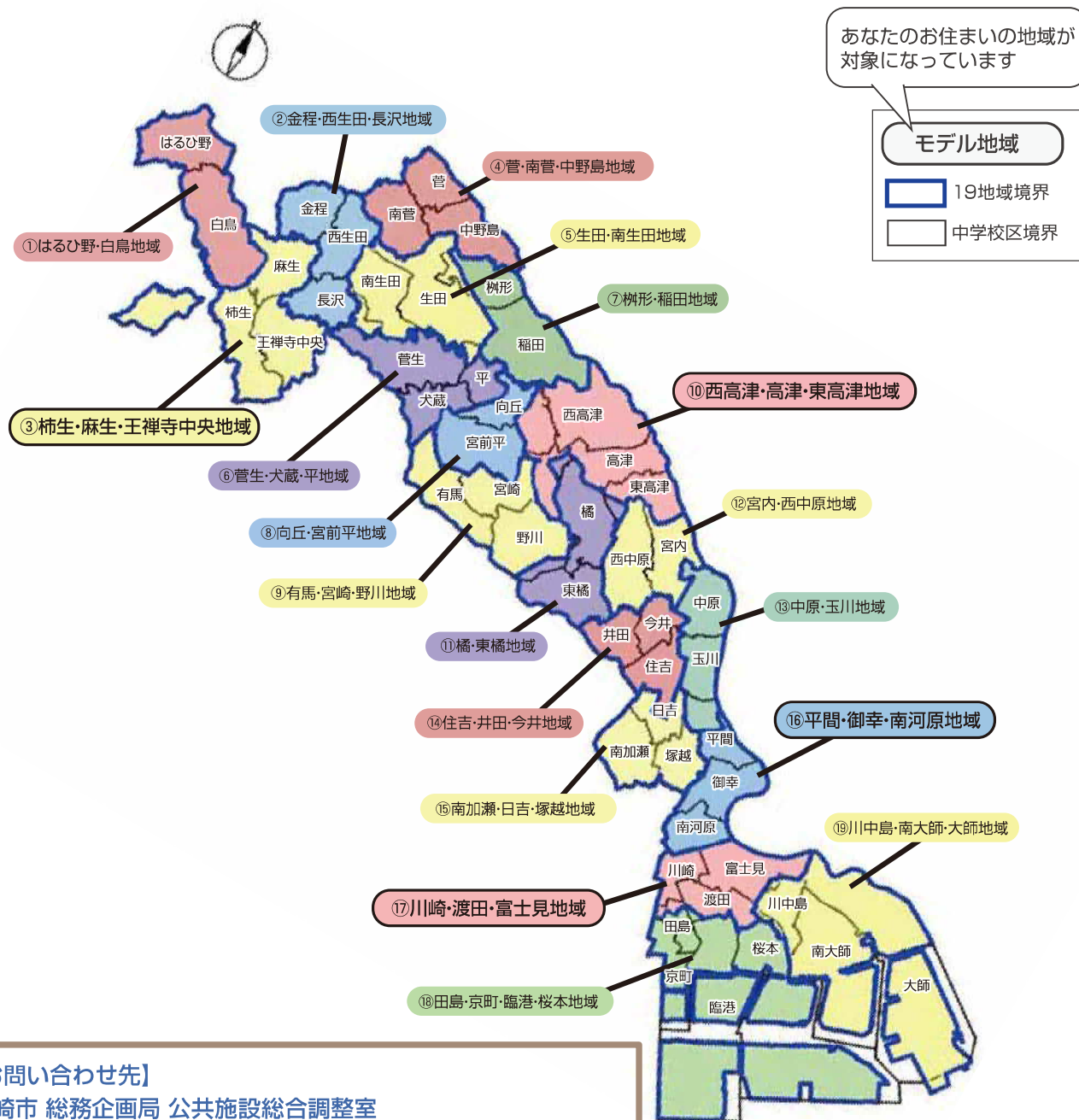
- 将来世代の負担が重くならないよう、公共施設の保有総量を適切に管理することが必要です。
- 資産マネジメント第3期実施方針を策定し、「機能重視」の考え方に基づく取組と、資産保有の最適化を重点的に推進します。
- これまで重点的に取り組んでいた施設の長寿命化については、資産保有の最適化を踏まえた上で取組を継続します。

～ 資産マネジメント第3期実施方針の概要 ～

地域ごとの資産保有の最適化検討について

4つのモデル地域を選定して検討を進めます

地形、鉄道路線・バス路線の状況、町内会・自治会のエリア等も踏まえ、一旦、2～4程度の中学校区単位を基本とし、「地域」の仮設定（19地域）を行いました。19地域の中から、地域の施設の規模・老朽度・利用状況等を基に、モデル地域4地域の選定を行い、令和5年度から検討を開始しています。



【お問い合わせ先】

川崎市 総務企画局 公共施設総合調整室

電話 044-200-2346、044-200-1226

(土・日・祝を除く 8:30～12:00、13:00～17:15)

FAX 044-200-3627